国際社会小児科学小児保健学会（ISSOP）　　国際小児科学会（IPA）

ガザ地区とヨルダン川西岸地区／パレスチナにおける暴力、飢餓、そしてジェノサイドを止めよ

2025年7月

小児科医ほど、武力紛争と暴力が子どもたちに与える影響を目の当たりにする職業は他にいない。そういう点で、報復を恐れることなく、この問題に立ち向かう、より大きな責任を負っている職業は他にない。

ガザ地区とヨルダン川西岸地区で起こっている暴力と飢餓を目の当たりにしているということは、小児科医、小児保健及び公衆衛生の専門家、そして子どもの権利を擁護する者として、武力紛争が子どもたちに与える影響に対して行動を起こす、倫理的義務を果たさねばならない。そして一方で、2023年10月7日にハマスがイスラエル国民に対して犯した戦争犯罪を無視することなく、それは犯罪として認識され非難されねばならない。

小児科医及び小児保健の専門家として、私たちはガザの子どもたちが耐えてきた身体的心理的トラウマが、彼らの生涯にわたる健康とウエルビーイングに影響を与えることを理解している。イスラエルによる強制的な飢餓は、すでに子どもたちに死をもたらしており、今後もさらに多くの命が失われると危惧されている。そして、あらゆる人権の原則、基準、規範が侵害される危機に至っている。これは非人道的な犯罪であり、子どもの権利の担い手である私たちは、その事実に応答する責任がある。そして、イスラエルと、この暴力と飢餓に直接的または間接的に加担したすべてものは、非難され責任を問われなければならない。

ガザの子どもたちへの対応に集中している間に、スーダン、ウクライナ、コンゴ民主共和国、エチオピア、イエメン、ミャンマー、そして世界のその他の地域で、子どもたちの最適化されねばならない、生存しそしてもてる力を発揮する子どもの権利が、世界中で侵害されており、これらに対して、私たちが関心を示し行動を起こすことが求められていることも、忘れてはいない。これらの権利侵害が極めて深刻で広範囲に及ぶ事実は、人間らしさを踏みにじり、子どもたちの命を軽視している表れだといえる。

これら権利侵害を終わらせるため、私たちは小児科医及び小児保健の専門家からなる国際学会として、イスラエルによるガザにおける行為が、国連の「ジェノサイド」の定義に該当するとの認識に立ち、以下の行動をとるよう要求する。

1. ガザで進行中のジェノサイドを*非難し即座の停止を求める*。これには、特に子どもたちにより大きな影響を与えている暴力、強制的な飢餓、そして人道支援の排除を、一刻も早く停止することが含まれる。
2. ガザにおける暴力とジェノサイドを終わらせ、医療従事者、病院、医療施設への攻撃をやめ、ガザの子どもたちの医療ニーズに直ちに対応して、子どもたちへの医療、最適な生存、もてる力を発揮できる権利を保障するために必要とされる医療インフラと社会システムの再構築に貢献するため、すべての子ども保健の専門家の組織、学術団体、専門機関は、圧力をかけて行動を起こすよう呼びかける。
3. エジプトとヨルダンのすべての現地アクセスポイントを通じて、パレスチナの市民、特に子どもたちが、人道支援物資に自由にアクセスできることを求め、直ちに実行するよう、国際社会に呼びかける。こうした支援に対する、イスラエルによる意図的な阻止があることを認識し、その行為を非難する。
4. ガザ地区における暴力の連鎖と今もジェノサイドを続けるイスラエルに対する、国際社会による政治的、経済的、組織的、軍事的支援の停止を求める。子どものウエルビーイングに関わるすべての官民関係者の沈黙も、犯罪に対する共犯の一形態であり、声を上げねばならない。
5. 報復を受けることなく、専門家たちと専門組織、学術団体、専門機関が、パレスチナの子どもたちの権利のために、自由かつ効果的に擁護できるようにする。
6. ヨルダン川西岸地区／パレスチナで起こっている民族隔離と民族浄化は、ガザ地区で起こっているジェノサイドの規模にエスカレートする恐れがあることを、認識し行動する。

ガザ地区とヨルダン川西岸地区／パレスチナで起こっている、身体的暴力、強制的な飢餓、そして人道支援阻止は、小児科医、小児保健および公衆衛生の専門家、専門家組織、学術団体、専門機関、さらに子どもの健康とウエルビーイングに関わるすべての関係者による、今すぐの対応が必要である。今でなければ、いつ対応するのか？私たちでなければ、誰が対応するのか？

翻訳責任：ISSOP／佛教大学社会福祉学部・小児科医）武内一